

はびどく興奮して了つた。

松坂屋の前へ来ると、木村がその角に立つてゐた。よし子はその姿をチラツと横眼の中に入れてと、わざと知らん顔をして、青年に腕を組み乍ら親しげに笑ひかけた。水木はまるで債券でも當つたやうに、意外な喜びに心を踊らせ乍ら、彼女の饒舌に答へてゐた。

一丁も過ぎた頃、よし子は急に黙つて了つた。張りつめてゐた氣持が急にゆるんで、いきなり眼頭があつくなつて來た。

青年が今度は一人饒舌つてゐた。

「うるさいわね。」

「え？」

「何をひとりで、そんなにはしやいでゐるの。」

「おやおや、これは中々辛辣ですね。」

「ここで失禮するわ。」

「えつ？」

よし子は呆氣にとられてゐる青年をそこに残したまま、すたすたと街を横切つて行つて了つた。

*

*

「誰だかの言葉に、この人生と云ふものは一つの大きな舞臺だ、男も女も、ただその上で芝居を

やつてゐる役者に過ぎない、と云ふのがありました。私はただ、あなたのお作りになつた芝居を忠實につとめてゐた一人の役者だつたのです。役者でも度々舞臺で同じ役をやると、段々その役の氣持が實感となつて心の中にしみこんで來ると云ふ事を聞きました。それで私も、もうこの役をこ免かうむらうと思ひますの。かう申し上げたら、あなたはきつともう、あたしの心持を充分解つて頂けたと思ひます。そして、もうこれからは決して、あんな危険な芝居をお書きにならないやうにお願い致しますわ。あなたの御主人はそれは立派なお方です。いつ迄もいつ迄も、しつかりとあなたのお側にひきつけてお置き遊ばせ。それではさようなら。御ふたりの幸福を祈つて居りますなどと云ふ白々しい言葉を、ここに書きつけるのには、私は餘りみぢめ過ぎますの。さよなら。

綾子さま。」

よし子より

ブラットフォームに立ち乍ら、綾子は昨日受取つたよし子の手紙の事を考へてゐた。彼女よこの手紙の中から尊い二つの教へを感じた。それは、夫の良心にまかせて置けるなどと云ふ事は、みんな妻の感傷に過ぎないと云ふ事。夫を自分から離さずにひきつけて置くものは、自分自身の魅力以外に何んにもないと云ふ事だつた。彼は思ひ切つて深い息を吸つた。新鮮な初夏の空氣が胸の中に心持よくひろがつて行つた。彼女は段々とり戻して來た自分の健康に限り無い幸福を感じた。

夫を乗せた汽車が隧道の口から現れて来た。彼女はあわててコムバクトの鏡の中に、明るい自分の微笑をうつした。それからいそいそと汽車を迎へて歩き出した、彼女はこんなに夫を懐しいと思つた事はなかつた。

昭和五年九月一日印刷
昭和五年九月三日發行



發 兌

東京市芝區愛宕下町
四丁目四十四番地

改

振替口座東京八四〇二番
電話芝(43)自一一二一四番

社

改造文庫 第二部 第一百八篇

噂の發生・他廿六篇 定價四十錢

著 者 菊 池 寛

發 行 者 山 木 三 生

東京市芝區愛宕下町四丁目四十番地

印 刷 者 杉 山 愛 二

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地

(兩角製本)

株式會社秀英印刷

我社は世界に於ける出版界の革命者である。廉價全集の創始者である。我社が大正十五年十一月多大の犠牲を豫期して廉價全集を發行するや、感激の聲國內を震撼し、日々數千通の感謝狀が舞ひ込んだ。今迄特權階級のみの藝術であり、哲學であり、經濟、美術、科學であつたものが無産階級の全野に解放されてからは全國を通じて讀書階級が一時に數十倍となつた。この劃期的現象を招來し、我國の文化を一時に引上げ文化史上赫々たる我社は、尙當時の宣言の徹底を期して茲に「改造文庫」を發刊せんとす。尙その内容は別記の如くであるが、我社は數十年を期してあらゆる權威ある著作を本集に網羅して民衆的一大文庫を建設せんと欲す。諸君の期待と支持を俟つ。

改造文庫第一部目録

第一篇 富國論(上卷)	アダム・スミス著(近刊)
第二篇 富國論(中卷)	アダム・スミス著(近刊)
第三篇 富國論(下卷)	アダム・スミス著(近刊)
第四篇 人口論	ロバート・マルサス著(近刊)
第五篇 經濟學原理	デビッド・リカード著(近刊)
第六篇 經濟學原理(上卷)	スチユアト・ミル著(近刊)
第七篇 經濟學原理(下卷)	スチユアト・ミル著(近刊)
第八篇 經濟學方法論	カール・メンガー著(近刊)
第九篇 經濟學原理	チェボンス著(近刊)
第一〇篇 社會主義の發展	エンゲルス著(近刊)

第一篇 認識論	マルキシズム	石川準十郎著	1
第二篇 辯證法的唯物觀	山イッゲ	均譯	2
第三篇 哲學の實果	山イッゲ	均譯	1
第四篇 神と國家	バクスター著	宗譯	1
第五篇 婦人論	山イッゲ	榮譯	6
第六篇 古代社會(上卷)	モルガン著	(近刊)	
第七篇 古代社會(下卷)	モルガン著	(近刊)	
第八篇 エミール(上卷)	ルソウ著	次譯	4
第九篇 エミール(下卷)	ルソウ著	次譯	4
第二〇篇 國家論	オッペンハイム著	吉譯	2
第二一篇 金融資本論	猪俣津南雄著		4
第二二篇 日本開化小史	田口卯吉著		2

□此の文庫は、内容厳選と最低の廉價とを以て第一義とし、専ら大衆普及を目的として刊行す。
 □此文庫に收容するものは、東西古今百般の書に互り、校訂、註釋、翻譯、總て典據たるべきを期す。
 □此文庫は、社會、經濟、政治、哲學、思想、歴史、文學、藝術、美術等百般に及ぶ。
 □表紙上の番號は單に發行順を示すものなれど、將來檢索上の便宜を考慮に容れて之を示す。
 □一冊の分量は約百頁以上五百頁とし定價は約百頁を單位として拾錢としその冊子の頁に應じて二十錢、三十錢、四十錢、五十錢とす。但、地圖附録等挿入の場合は、必らずしもこの例に依らず。
 □表紙意匠中、1は十錢、2は二十錢を、3は三十錢を示す。以下之に倣ふ。
 □定價及び送料左表の如し。

表紙背の符號	定價(錢)	送料(錢)
1	100	2
2	200	4
3	300	6
4	400	8
5	500	10
6	600	12
7	700	14
8	800	16

第二三篇	日本經濟論	田口卯吉著	1
第二四篇	日本經濟學說の要領	本誠一著	2
第二五篇	日本商業史	横井時多著	4
第二六篇	日本工業史	横井時多著	4
第二七篇	經濟學の實際知識	高橋龜吉著	2
第二八篇	リッケルト論文集	リッケルト著	2
第二九篇	フツサル論文集	フツサル著	2
第三〇篇	女工哀史	細井和喜藏著	4
第三一篇	婦人解放論	スチユアト・ミル著	2
第三二篇	社會進化と婦人の地位	ラッパボルト著	2
第三三篇	共產主義小兒病	レニン著	2
第三四篇	二十世紀初頭の農村問題	レニン著	2
第三五篇	文學と革命	トロツキイ著	2
第三六篇	幸徳秋水集	幸徳秋水著	2
第三七篇	中江兆民集	中江兆民著	2
第三八篇	財産起源論	レヴィンスキイ著	1
第三九篇	組織論	鈴木厚著	3
第四〇篇	三民主義	孫中山著	3
第四一篇	唯一者とその所有	マックス・ステイルネル著	6
第四二篇	世事見聞録	武陽士著	2
第四三篇	金融資本論	ヒルファディング著	7
第四四篇	封建社會の研究	木庄榮治郎著	2
第四五篇	我近世の農村問題	木庄榮治郎著	3
第四六篇	マルクスの歴史、社會並に國家理論(七卷)	ハイリツヒ・クノイ著	3

第六六篇 經濟地理概論 プレブス・リীগ編 菊川忠雄譯 3
(以下續刊)

第四七篇	マルクスの歴史、社會並に國家理論(下卷)	ハイリツヒ・クノイ著	7
第四八篇	マルクスの國家觀	マックス・アドラー著	5
第四九篇	マルクス主義經濟學	河上肇著	3
第五〇篇	哲學概説	桑木嚴翼著	3
第五一篇	現代哲學思潮	桑木嚴翼著	3
第五九篇	政治心理學	ウオーラズ著	2
第六〇篇	唯物史觀概説	ゴルト彦著	2
第六一篇	無政府主義と社會主義	プレカアノフ著	2
第六二篇	財産進化論	荒畑寒村著	2
第六三篇	帝國主義論	岡田宗司著	2
第六四篇	帝國主義論	ホブソン著	2
第六五篇	勞働價值説の擁護	ヒルファディング著	2

改造文庫第二部目錄

第一篇古	事	記澤瀉久孝校訂	(刊近)
第二篇萬葉集(上卷)	折口信夫校訂	(刊近)	
第三篇萬葉集(下卷)	折口信夫校訂	(刊近)	
第四篇古今集	吉澤義則校註	(刊近)	
第五篇新古今集	吉澤義則校註	(刊近)	
第六篇新源氏物語(上卷)	折口信夫校註	(刊近)	
第七篇新源氏物語(下卷)	折口信夫校註	(刊近)	
第八篇枕草紙	山岸德平校訂	(刊近)	
第九篇金槐集	幸田露伴校註	(刊近)	
第一〇篇平家物語		(刊近)	

第一篇雨月物語	山口剛校訂	(刊近)
第二篇山家集	齋藤茂吉校註	(刊近)
第三篇俳諧七部集	萩原蘿月校訂	3
第四篇蕪村七部集	萩原蘿月校訂	3
第一篇伊勢物語	久松潜一校訂	2
第六篇神皇正統記	宮地直一校註	3
第七篇奧の細道	萩原蘿月校訂	3
第八篇曾根崎心中	黒木勘藏校註	3
第九篇冥途飛鳥	黒木勘藏校註	(刊近)
第二〇篇國姓爺合戦	黒木勘藏校註	(刊近)
第二一篇槍權三重帷子	黒木勘藏校註	(刊近)
第二二篇心中重井筒	黒木勘藏校註	(刊近)

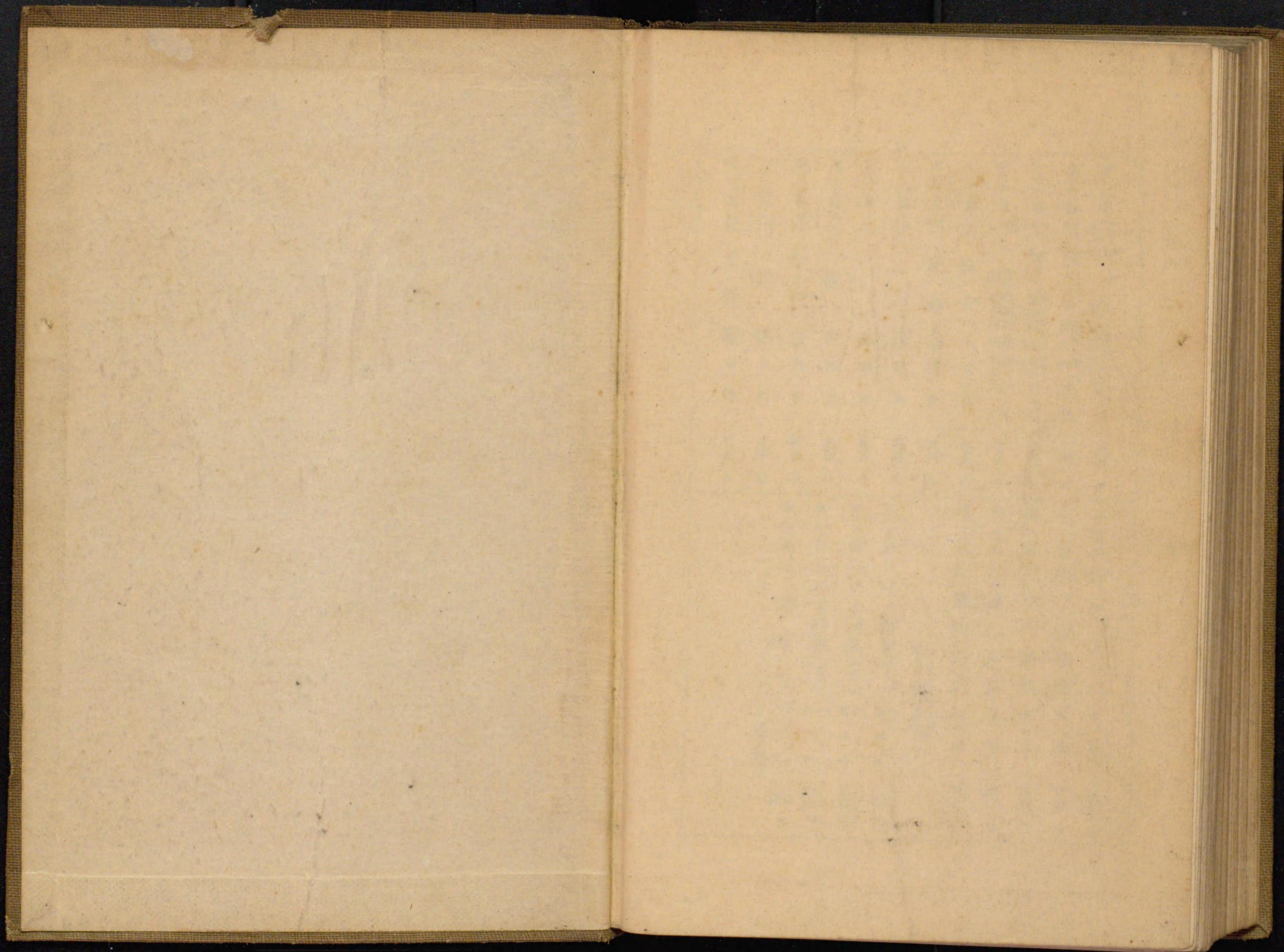
第二三篇	山崎與次兵衛壽門松、心中宵庚申	黒木勘藏校註	(刊近)
第二四篇	傾城反魂香	黒木勘藏校註	(刊近)
第二五篇	淀鯉出世瀧切	黒木勘藏校註	(刊近)
第二六篇	堀多小女郎波枕	黒木勘藏校註	(刊近)
第二七篇	五十年忌歌念佛	黒木勘藏校註	(刊近)
第二八篇	菅原傳受手習鑑	黒木勘藏校註	(刊近)
第二九篇	假名手本忠臣藏	黒木勘藏校註	(刊近)
第三〇篇	八百屋お七歌祭文	黒木勘藏校註	(刊近)
第三一篇	伊賀越道中双六	黒木勘藏校註	(刊近)
第三二篇	徒然草	吉澤義則校註	(刊近)
第三三篇	日蓮上人集	(刊近)	
第三四篇	親鸞上人集	(刊近)	

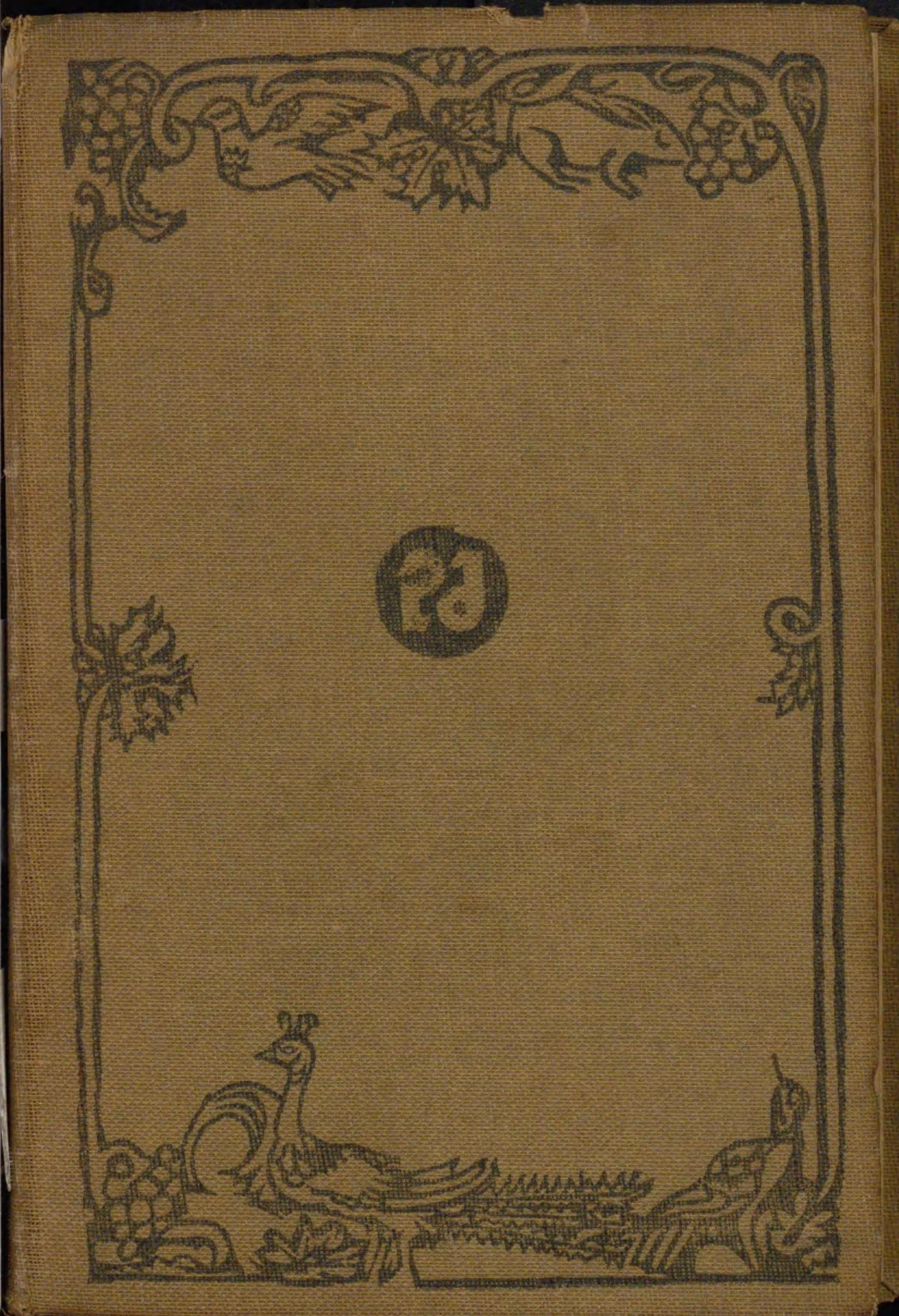
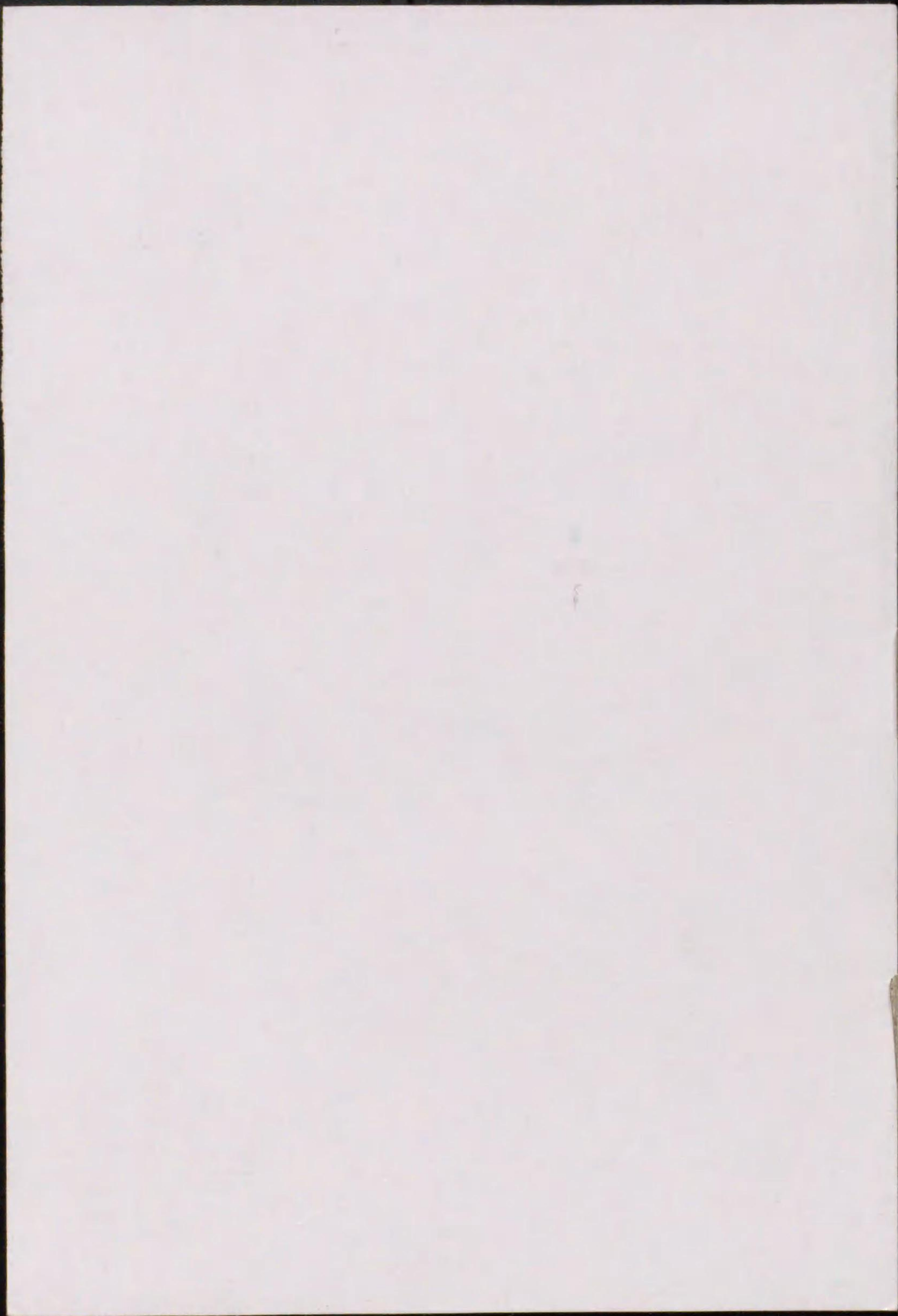
第三五篇	北村透谷選集	島崎藤村編	1
第三六篇	樋口一葉選集	樋口一葉著	1
第三七篇	平	凡二葉亭主人著	1
第三八篇	子規俳話	正岡子規著	3
第三九篇	子規歌話	正岡子規著	(刊近)
第四〇篇	坊つちやん	夏目漱石著	2
第四一篇	草枕	夏目漱石著	2
第四二篇	それから	夏目漱石著	3
第四三篇	悲しき玩砂	石川啄木著	2
第四四篇	我等の一團と彼	石川啄木著	1
第四五篇	山陰土産その他	島崎藤村著	2
第四六篇	作曲民謡集	北原白秋著	2

第四七篇 獄 中 記	オスカア・ワイルド著 神近市子譯	2	第五九篇 海やまの	釋 迢 空著	4
第四八篇 厭世家の誕生日	佐藤春夫著	1	第六〇篇 歌集立	春木下利玄著	2
第四九篇 日 輪	横光利一著	1	第六一篇 歌集花	榎北原白秋著	2
第五〇篇 労働者の居ない船	葉山嘉樹著	1	第六二篇 歌集人間往來	與謝野晶子著	2
第五一篇 海に生くる人々	葉山嘉樹著	2	第六三篇 歌集槻の木	窪田空穂著	2
第五二篇 小 公 子	バアネツト著 若松賤子譯	2	第六四篇 歌集野原の廓公	若山牧水著	2
第五三篇 ホワイト・ファンゲ	堀 利 彦譯	3	第六五篇 歌集原生	林前田夕暮著	3
第五四篇 は や り 唄	小杉天外著	2	第六六篇 歌集空を仰ぐ	土岐善麿著	2
第五五篇 朝の螢	齋藤茂吉著	2	第六七篇 白秋童謡集	北原白秋著	2
第五六篇 自選集十	年島木赤彦著	2	第六八篇 白秋國民歌謡集	北原白秋著	2
第五七篇 自選集川のほとり	古泉千樞著	2	第六九篇 白秋舞踊詞集	北原白秋著	2
第五八篇 自選集松の芽	中村憲吉著	2	第七〇篇 背 德 者	アンドレ・ジッド著 石川淳譯	2

第七一篇 チェホフ書簡集	内山賢次譯	5	第九三篇 一 週 間	リベティンスキー著 池谷信三郎譯	2
第七六篇 愚 庵 歌 集	齋藤茂吉編	2	第九四篇 室生犀星詩集	室生犀星著	5
第七七篇 芭蕉遺語集	萩原井泉水校訂	2	第九五篇 千家元麿詩集	千家元麿著	3
第七八篇 七番日記(上卷)	萩原井泉水校訂	2	第九六篇 横瀬夜雨詩集	横瀬夜雨著	5
第七九篇 七番日記(下卷)	萩原井泉水校訂	2	第九七篇 修禪寺物語	岡本綺堂著	3
第八〇篇 お ら が 春	萩原井泉水校訂	2	第九八篇 少年の悲哀	國木田獨步著	2
第八一篇 新花つみ	萩原井泉水編	2	第九九篇 運 命 論 者	國木田獨步著	2
第八二篇 寡婦マルタ	エリザ・オルセン著 清見睦郎譯	3	第一〇〇篇 佛蘭西家庭童話集	ボーモン夫人著 長松英一譯	3
第八九篇 句 集 虚 子	高濱虚子著	6	第一〇一篇 奈落の入々	ジャック・ロンドン著 和氣律次郎譯	3
第九〇篇 井泉水句集	萩原井泉水著	5	第一〇二篇 争 鬪	ジョン・ユルスタイン著 和氣律次郎譯	2
第九一篇 サ ニ ン	アルツイパーセフ著 武林無想庵譯	6	第一〇三篇 無名作家の日記	他廿三篇(短篇小説) 菊池寛著	5
第九二篇 一 青年の告白	ジョージ・ムーア著 辻 潤譯	3	第一〇四篇 出世	他廿七篇(短篇小説) 菊池寛著	4

第二七篇	恩讐の	他廿八篇(短篇小説)	菊池	寛著	5	第二九篇	陸の人魚	菊池	寛著	4
第二八篇	彼の發生	他廿六篇(集篇小説)	菊池	寛著	4	第三〇篇	第二の接吻	菊池	寛著	3
第二九篇	父歸る	他廿三篇(戯曲)	菊池	寛著	5	第三一篇	東京行進曲	菊池	寛著	3
第三〇篇	藤十郎の戀	他十篇(戯曲)	菊池	寛著	5	第三二篇	結婚二重奏	菊池	寛著	3
第三一篇	眞珠夫人	九篇(時代物)	菊池	寛著	6	第三三篇	不壞の白珠	菊池	寛著	3
第三二篇	慈悲心	鳥菊池	寛著	4	(以上十九篇にて菊池寛全集完結)					
第三三篇	新珠	菊池	寛著	5	第三四篇	ハイネ詩集(1)	ハ田イ春	ネ著(刊近)		
第三四篇	火華	菊池	寛著	4	第三五篇	ハイネ詩集(2)	ハ田イ春	ネ著(刊近)		
第三五篇	受難	華菊池	寛著	5	第三六篇	ハイネ詩集(3)	ハ田イ春	ネ著(刊近)		
第三六篇	赤い白鳥	菊池	寛著	3	第三七篇	洋服箏筒	トーマス・マン	六笠武生譯	2	(以下續刊)
第三七篇	明眸	禍菊池	寛著	5						
第三八篇	新女性鑑	菊池	寛著	3						



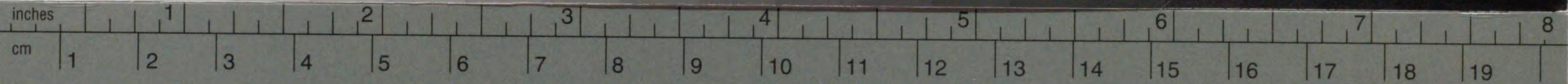


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

